

# 秋田県南工業振興会

## 第34号

【発行】秋田県南工業振興会事務局  
 横手市役所企業振興室内  
 0182 32 2111 内線 324  
 2001年10月19日

http://www.aki-takennan-net.gr.jp E-mail akks@rnac.ne.jp

|       | 受講企業  |
|-------|---|
| 振興会企業 | 河野光学レンズ(株)秋田工場<br>(株)タニタ秋田<br>光ガラス(株)稲川事業所<br>宮腰情報機械(株)<br>ユニシアJKC ステアリングシステム(株)<br>(株)レジーナ |
| 会員以外  | (株)丸倉(稲川町)<br>マルトヨ物産(株)(湯沢市)<br>ヤマサコーポレーション(大曲市)  |
| 個人    | 横手市・鎌田京子 高橋正平<br>湯沢市・五十嵐聡   |

# 今後は実践で活用したい

## 貿易実務講座：16人が受講：

「貿易実務講座」は10月9日から10日の2日間、横手市総合技能センターで行なわれました。毎年、行なっているこの講座は、今年度、ジェットロケット田県立秋田技術専門学校、及び横手インテック・デポ設置促進協議会などの共催講座として行なわれました。

講座は6人の講師団で、それぞれ専門の分野からの講義となりました。

講座には振興会会員のほかに、個人で勉強したいとする人や、商業関係の方たちの参加もあり、16人が受講しました。

横手運送の齋藤部長は、通関の流れや、荷物の梱包のしかたなどについての講義で、第1日目を終りました。

講座の2日目は、永野アドバイザーによる講義が行なわれ、昨日までの実践・実務の講座を踏まえ、相手との交渉術や、貿易にあたっての注意事項などについての講義が行なわれました。

参加者からは、「ヨーロッパ通関がユーロに移行になることによる為替の関係は、どう

なるのか?」「コンテナのパッキングの仕方について」など、活発な質問が出されました。

講座の締めくくりとして、日本通運・大沼課長から、秋田空港からの国際荷物発着のメリットや韓国への定期便が就航することによる、利用のしかたなどについての講義が行われました。

最後に参加者に対し、秋田技術専門から修了証が授与され、受講者の皆からは、「この講座を通して貿易への関心や意欲が高まった」「この地域に貿易を日常業務にしている企業が多くあることを知った」「基礎的な流れや用語がわかり、今後は実践で活用したい。」などの感想も多く、盛況のうちに終了しました。

講師団を紹介します(敬称略)  
 林 道郎(ジェットロケット秋田貿易情報センター所長)  
 菊地勇作(北都銀行証券国際部国際業務室課長)  
 浜谷俊信(東京海上火災保険海外業務部業務管理課長)  
 齋藤順一(横手運送国際貨物部長)  
 永野靖夫(ジェットロケット認定貿易アドバイザー)  
 大沼康宏(日本通運秋田航空支社国際貨物課長)

期日 11月9日(金)  
 時間 午後6時から  
 会場 ゲストハウスフォーシーズン



第13回目を数えるナイトフォラムは大曲市を会場に開催されることになりました。ゲストには、ホンダのアメリカ副社長である

つた大釜俊博氏を迎え、オヤジとよんで親しんでいた亡き本田宗一郎氏の経営手腕などをお話していただきます。この厳しい時代に何をすべきか、また、ふるさとを遠く別の所からどう見るかなど、さまざまな角度からいろいろなお話がされるものと思えます。